

## 2009年度事業報告及び収支決算報告

横浜グリーン購入ネットワーク（横浜GPN）は、地域とのつながりを大切に、市民と企業・団体、行政とが一緒になって、環境に配慮した製品・サービスの購入や提供を推進していくことを目的としています。

2009年度は市民と企業・団体、事業者、行政が協働して次の諸事業を行いました。

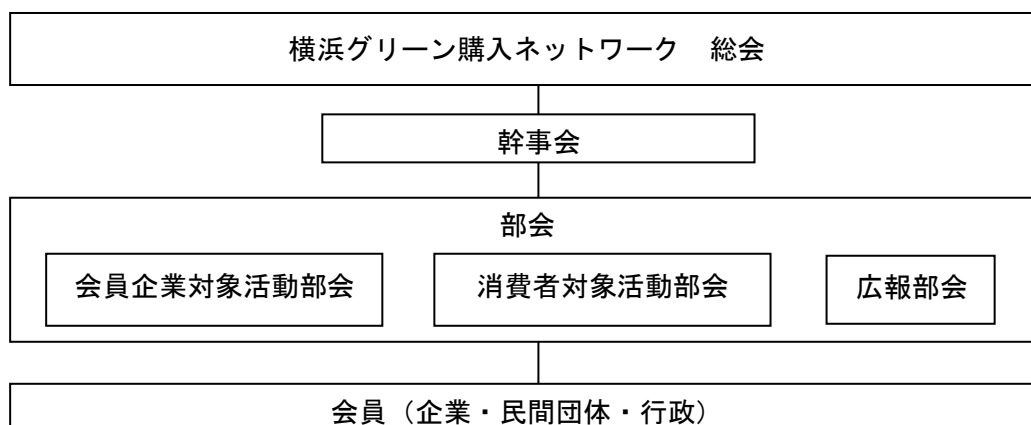
## 1 構成

(1) 会員数（平成22年3月31日現在）

73 団体（内訳：企業 52 団体、民間団体 13 団体、行政 8 団体）

（平成21年6月12日設立時は71団体：企業50団体、民間団体14団体、行政7団体）

(2) 組織



(3) 役員（順不同・敬称略、平成22年3月31日現在）

役名	氏名	備考
幹事(会長)	影山 摩子弥	横浜市立大学 CSR センターLLP センター長
〃 (副会長)	大川 哲郎	株式会社大川印刷 代表取締役社長
〃 (代表幹事)	阿部 祐爾	株式会社岡村製作所 環境マネジメント部 部長
〃 (代表幹事)	吉田 肇	横浜市地球温暖化対策事業本部 地球温暖化対策課担当課長
〃	池田 陸朗	カーボンフリーコンサルティング株式会社 取締役
〃	東使 弘三郎	プリンス電機株式会社 企画業務部 部長
〃	戸川 孝則	横浜市資源リサイクル事業協同組合企画室 室長
〃	濱野 雄一	生活協同組合コープかながわ 組合員活動部 部長
監査役	川邊 敏雄	特定非営利活動法人ヨコハマみらい環境協議会 代表理事
〃	鈴木 満	生活協同組合連合会ユーコープ事業連合 執行役員 管理統括
名誉顧問	林 文子	横浜市長

## 2 会議開催状況

### (1) 設立総会

開催日	会場	概要
6月12日	はまぎんホール ヴィアマーレ	<p>設立総会 (出席 30 委任状 24) 議題 1. 設立趣意書及び会則 議題 2. 役員選出 議題 3. 2009年度事業計画及び予算</p> <p>設立記念フォーラム (出席約 150 名) テーマ「横浜から広げる“グリーン購入”の輪」</p> <p>第1部：基調講演 タイトル「私たちにできる地球温暖化対策」 枝廣 淳子氏 有限会社イーズ代表取締役 アル・ゴア著「不都合な真実」翻訳者</p> <p>第2部：パネルディスカッション タイトル「地球温暖化対策を考える～企業、市民、行政をつなぐ“グリーン購入”～」 コーディネーター： GPN本部専務理事・事務局長 麴谷和也氏 パネリスト： 枝廣淳子氏 小川長利氏 (滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課参事[滋賀GPN幹事]) 影山摩子弥氏 (横浜市立大学教授、横浜GPN会長) 高橋俊和氏 (横浜市地球温暖化対策事業本部地球温暖化対策課長)</p>



挨拶する影山会長



パネルディスカッションの様子

## (2) 幹事会

回	開催日	場 所	概 要
1	7月21日	(株)岡村製作所 24階会議室	幹事会準備会の報告および確認 会員メールマガジンについて 今後の推進体制について（部会の再編成）
2	9月1日	(株)岡村製作所 24階会議室	消費者戦略会議 グリーン購入検定について 各プロジェクトの具体案について 入会案内について
3	9月28日	(株)岡村製作所 24階会議室	各プロジェクトの推進状況について グリーン購入ガイドラインの活用について 消費者向けGPNセミナーの実施について 自治体会員の情報交換について
4	10月26日	(株)岡村製作所 会議室 A	企業向け見学・交流会について 各プロジェクト等の進捗状況について
5	11月27日	(株)岡村製作所 会議室 B	GPN第12回地域ネットワーク委員会報告 企業交流プロジェクト等について GPN理事会報告 横浜消費者セミナー等について
6	1月19日	(株)岡村製作所 会議室 B	セミナーの運営について
臨時	2月15日	開港記念会館 9号会議室	環境車検の提案について ワーキンググループの設置について
7	2月22日	(株)岡村製作所 会議室 B	事業報告 今年度決算について マイアースについて
8	3月23日	(株)岡村製作所 会議室 B	体制編成の設定について 見学会実施のスケジュール事業計画について 消費者向けプロジェクト等について 会計報告

## 3 実施事業

### (1) 企業交流プロジェクト

【目的】横浜GPNおよびその関連で、環境に配慮した取り組みをしている企業を紹介し知見を深めるとともに、会員同士の交流の場を設けることで、ネットワークの活性化を図る。

#### ① 第1回企業見学会・交流会

日時：平成21年10月1日（木）

見学先：サンオータス(株)（2007年グリーン購入大賞  
優秀賞受賞）

参加人数：28名、11企業（団体）

活動内容：車の有害な排出ガスの削減、燃費アップ、



エンジン性能の向上を通じて、「人と地球にやさしい環境メンテナンス」の実現をめざす車検システム「環境車検」の取り組みを見学した。

② 第2回企業見学会・交流会

日時：平成21年12月8日（火）

見学先：横浜市資源リサイクル事業協同組合（第11回グリーン購入大賞受賞）

参加人数：27名、14企業（団体）

活動内容：国際リサイクル施設「リサイクルポート山ノ内」の見学及びCSR戦略ビジョンの紹介、第11回グリーン購入大賞受賞事例の発表を受けた。



## (2) 消費者セミナープロジェクト

### 【目的】

実際に商品を使い、環境の視点から商品やサービスを選ぶのか、選んだ理由を考え、共有するために、ワークショップ形式で学び、グリーン購入を実感する。

### 【活動概要】

日時：平成22年2月15日（月）

会場：横浜市開港記念会館9号室

講師：グリーン購入ネットワーク事務局次長 深津学治氏、同事務局 高岡由紀子氏

参加人数：22名（講師・事務局含め32名）

活動内容：環境に配慮した買物の仕方をテーマに「買い物ゲーム」ワークショップを実施。実際に商品（トマト・トイレットペーパー）に触れて選ぶ体験とグループ討議を通じて、グリーン購入生活を学んだ。



## (3) 広報・ホームページ

### 【目的】

横浜GPNの活動を会員や社会へ紹介し、会員相互の交流とGPN活動の社会へのPRをはかる。

### 【活動概要】

メールニュース

横浜GPN独自の活動に関する予告や募集を主としてメールニュースを適時発行してきました。昨年度は、7通発信

ホームページ (<http://www.y-gpn.org/>)

メールニュースとあわせて横浜GPN活動の予告や報告を、主として掲載しています。特に、企業訪問の動画は一度ご覧ください。

会員勧誘チラシ

会員勧誘用のチラシも制作しました。



横浜グリーン購入ネットワークホームページ



会員勧誘チラシ

(4) その他

①グリーン購入セミナーin横浜 ～グリーン購入で低炭素社会を実現しよう～

【目的】

地域におけるグリーン購入の普及・拡大とグリーン購入への理解を深める。

【活動概要】

日時：平成22年1月26日（火）

会場：横浜情報文化センター 情報文化ホール

主催：グリーン購入ネットワーク、横浜グリーン購入ネットワーク、環境省、  
財団法人日本環境協会

後援：神奈川県、横浜市地球温暖化対策事業本部

参加人数：約120名

活動内容：基調講演（「グリーン購入で守る次の世代の地球」東京大学大学院教授・GPN副会長 平尾雅彦氏）及び地域におけるグリーン購入等先進実践事例として第11回グリーン購入大賞受賞事例等（横浜市資源リサイクル事業協同組合、プリンス電機株式会社、積水ハウス株式会社）の発表が行われた。

平成21年度 横浜グリーン購入ネットワーク

会計収支報告書

平成21年6月12日 ～ 平成22年3月31日

収支報告

(単位：円)

収入総額	1,600,241
支出総額	887,689
差引残高	712,552

収入の部				
項目	予算額	決算額	差異(予算額—決算額)	備考
会費収入	280,000	890,000	△610,000	
GPNからの設立時の活動支援	500,000	500,000	0	
事業収入	0	70,000	△70,000	グリーン購入実態調査(日本環境協会)
受取利息	0	241	△241	
雑収入	0	140,000	△140,000	交流会会費
計	780,000	1,600,241	△820,241	

支出の部				
項目	予算額	決算額	差異(予算額—決算額)	備考
会員勧誘ツールの作成	250,000	307,650	△57,650	パネル・チラシ
地域ネットワークホームページ運用・改修	150,000	140,700	△9,300	ホームページ
設立記念フォーラム開催	100,000	0	100,000	
会報の発行	0	0	0	
メーリングリストの発行	0	0	0	
普及啓発事業(セミナー・研修会・出前講座含む)	160,000	164,290	△4,290	
全国ネットワークへの負担金	0	260,000	△260,000	
事務局経費	120,000	15,049	104,951	事務用品(印鑑)、通信費等
人件費	0	0	0	
計	780,000	887,689	△107,689	

## 貸借対照表

平成22年3月31日現在

科目	金額（円）	科目	金額（円）
I 資産の部		II 負債の部	
1 流動資産	712,552	1 流動負債	0
現金預金	701,852	2 固定負債	0
未払費用	10,700	負債の部合計	0
2 固定資産	0	III 正味財産の部	
		1 指定正味財産	0
		2 一般正味財産	712,552
		正味財産の部合計	712,552
資産の部合計	712,552	負債及び正味財産合計	712,552



## 財産目録

平成22年3月31日現在

科目	金額（円）		
I 資産の部			
1 流動資産	712,552		
現金預金	701,852		
未払費用	10,700		
流動資産合計		712,552	
2 固定資産	0		
固定資産合計		0	
資産の部合計			712,552
II 負債の部			
1 流動負債	0		
流動負債合計		0	
2 固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債の部合計			0
正味財産			712,552